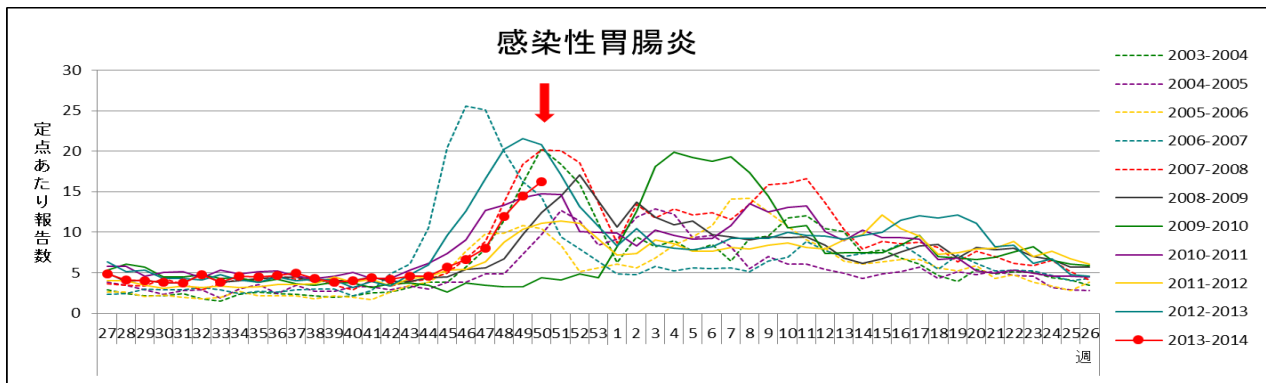


# 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 50 週 (12 月 9 日 ~ 12 月 15 日)

○感染性胃腸炎は、県全体で 875 名（定点あたり 14.43 → 16.20 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。

## 【第 51 週 速報】

○岡山市の小学校 1 校で、感染性胃腸炎による学級閉鎖がありました（12 月 16 日）。

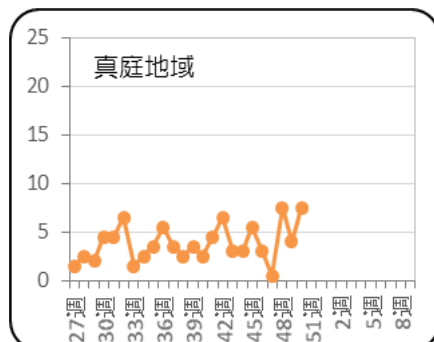
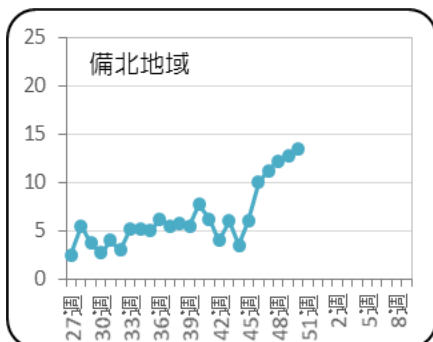
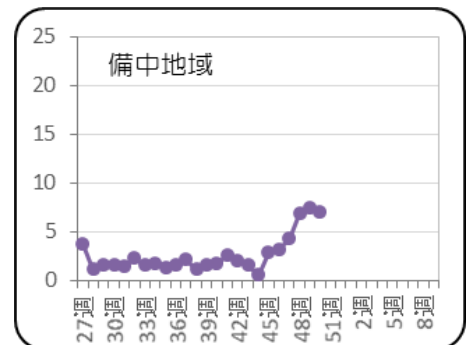
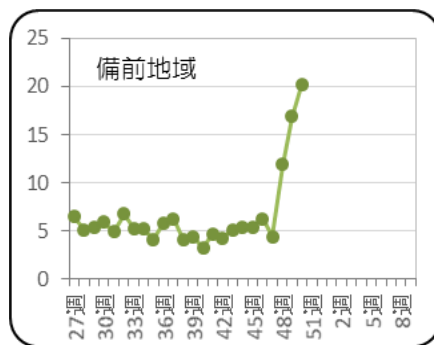
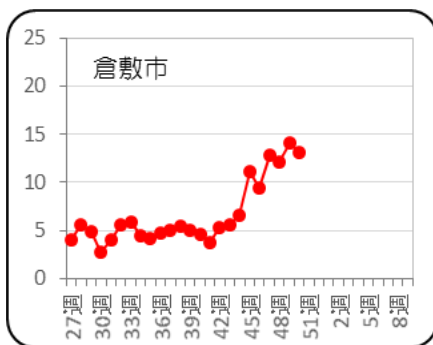
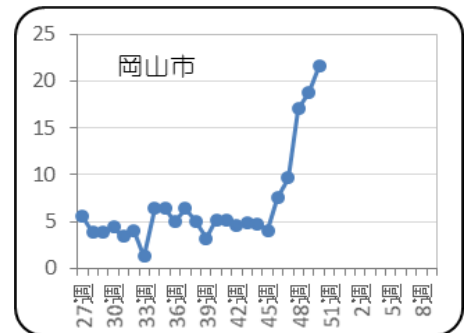
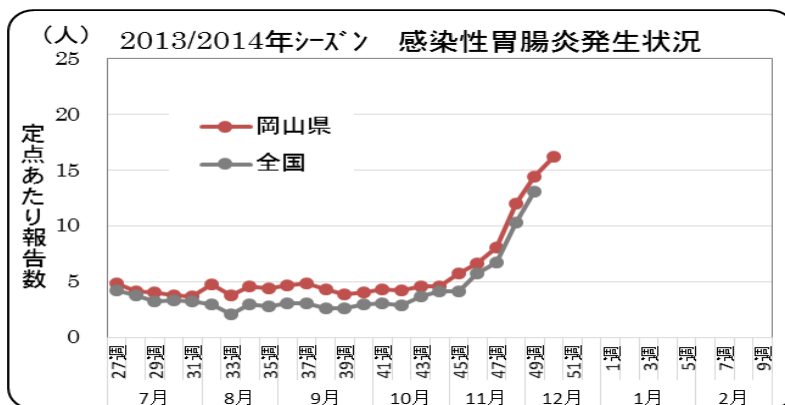


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、県全体で 875 名（定点あたり 14.43 → 16.20 人）の発生があり、前週より増加しました。第 43 週以降報告数の増加が続いており、11 月下旬頃からは急激に増加しています。冬の感染性胃腸炎の原因はウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

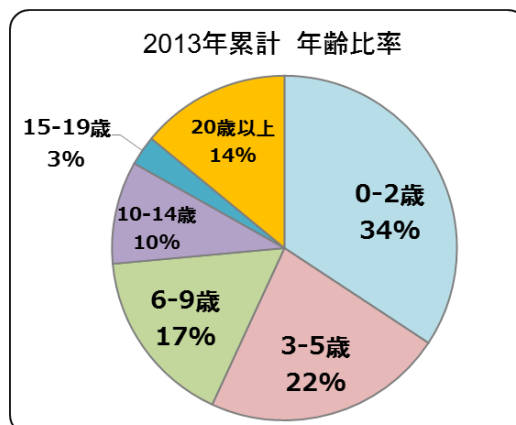
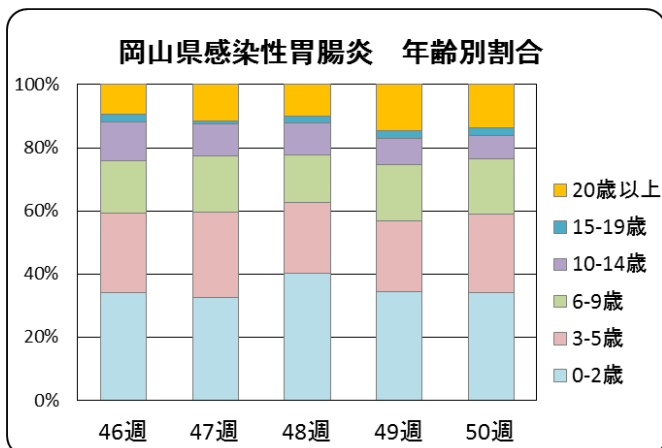
[○ノロウイルスに関する Q&A について \(厚生労働省\)](#)

## ◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、岡山市（21.57人）、備前地域（20.20人）、美作地域（18.00人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、備前地域、美作地域では前週にひきつづき大きな増加となっています。岡山市及び備前地域では、定点あたり患者数が20人を上回り、発生レベル3になりました。

年齢別累計では、0～2歳の乳幼児が全体の34%を占めています。



**◎感染性胃腸炎が増加しています。**

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

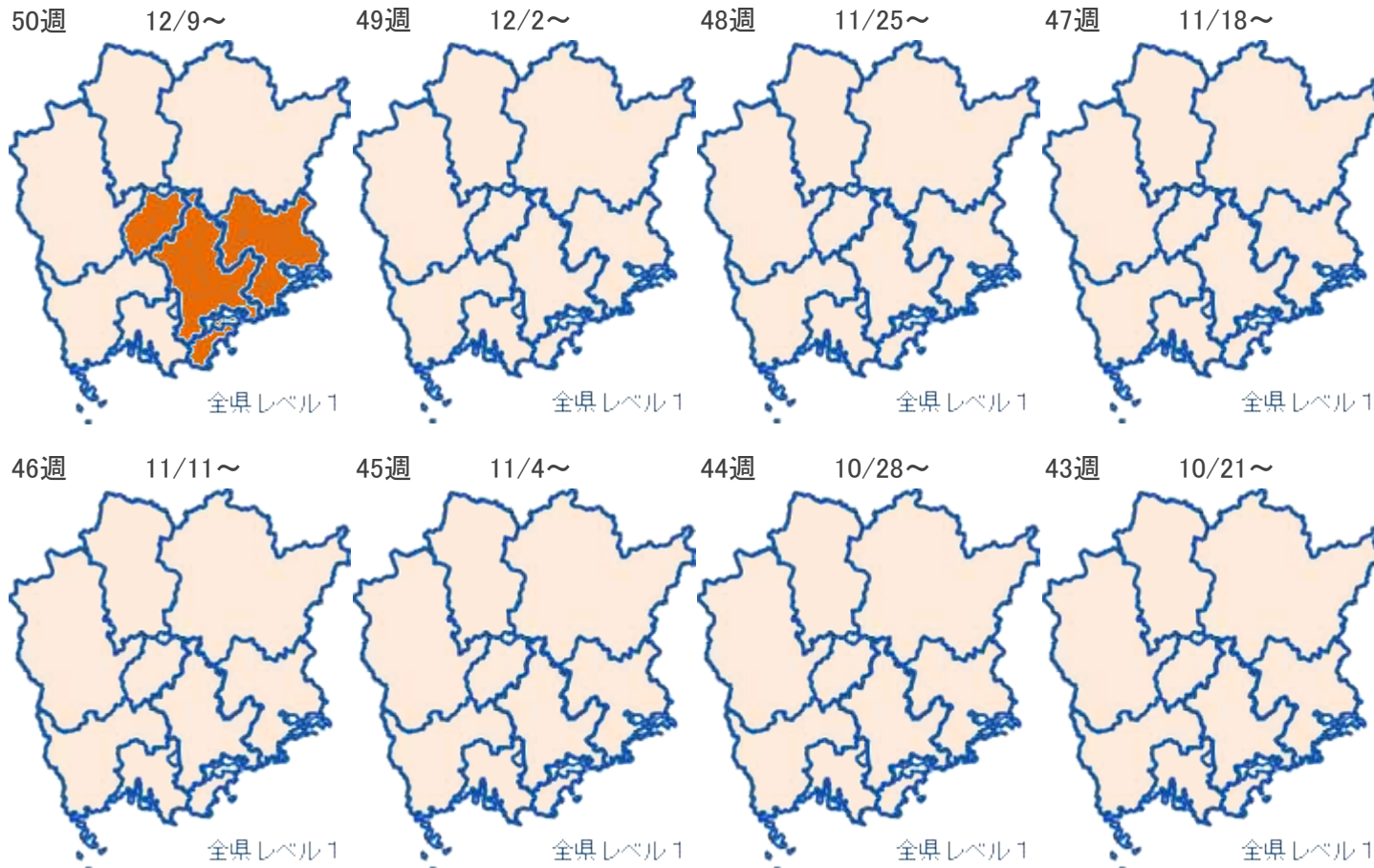
通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 50週

2013年12月17日

17:09:35



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。